

私たち日本演出者協会の社会包摂部では、昨年より「演劇で人と人、地域・社会と人をつなげる」ことを目標に、「社会と知的障がい者施設を演劇でつなぎ地域のプラットフォームをつくる事業」を文化庁助成により始めています。その新機軸として、今年は全国のネットワーク作りのためのシンポジウムを企画いたしました。多くの演劇人に「障がいのある人たちとつくる演劇」について知って欲しい、また演劇を取り入れてみようと思われている施設の皆様の参考になればと願っております。

実行委員一同 ご参加を心よりお待ちしております！

シンポジウム実行委員

柏木俊彦、佐川大輔、菅田華絵、和田喜夫

**オンラインシンポジウム**  
**8月9日(月) 10:00~12:00**  
 ＊参加費無料 ＊手話通訳あり  
 レクチャー、ディスカッション、参加者からの質疑応答など

【お問合せ・お申込】 申込期日 8/8(日) 12:00まで

どなたでもご参加いただけますので、お気軽にご参加ください。参加ご希望の方は、応募フォームかメールより期日までにお申し込みください。オンライン会議ツール「Zoom」を使用します。お申し込みいただいた方に、メールにて配信URLをお知らせします。

応募フォーム

<https://forms.gle/iwQzRg7Jkxaa3MDZ8>



メールにてお申し込みの場合は、以下の情報をメールアドレス [tunagaruengeki@gmail.com](mailto:tunagaruengeki@gmail.com) までお送りください。

- ① 名前 ② フリガナ ③ メールアドレス  
 ④ 所属・役職 ⑤ 電話番号



永山智行 (ながやまともゆき)

1967年生れ。劇作家、演出家。宮崎県の三股町立文化会館をフランチャイズとする劇団こぶく劇場代表。2001年『so bad year』でAAF 戯曲賞受賞。2006年から約10年間、公益財団法人宮崎県立芸術劇場演劇ディレクターも務めた。2007年からは劇団として、障害者も一俳優として参加する作品づくり(みやざき◎まあるい劇場)をはじめ、質の高さ、活動の社会的な広がり、その両面から高く評価されている。



佐藤拓道 (さとうひろみち)

1974年生まれ。2011年より社会福祉法人わたぼうしの会、たんぼぼの家アートセンターHANAに勤務。副施設長。障害のあるメンバーのケアに従事しつつ、演劇、ダンスプログラムなどを担当。現在、障害のあるメンバーと創作した舞台『僕がうまれた日』が(株)プリコグ「THEATRE for ALL」にて映像配信中。また、俳優としてパストリオ、マームとジブシーの作品などにも出演。



黒田百合 (くろだゆり)

劇団四季演劇研究所を卒業後、1990年に金沢で劇団夢宇人を立ち上げ演出活動に入る。金沢市民芸術村のドラマ工房ディレクターを経験し、社会の中での演劇のあり方を追求。障がいのある人たちと演劇の可能性をあらゆる表現方法で舞台化し、アートセンター「ペラングBe」で毎年公演を実施。石川県立七尾東雲高等学校演劇科非常勤講師。劇・あそび・表現活動「Ten seeds」代表。劇団夢宇人代表。日本演出者協会社会包摂部会員。

楽しくつながるプロジェクト2021  
 <発表会のご案内>

東京都奥多摩にある知的障がい者施設「東京多摩学園」の利用者さん、職員さんと創る演劇公演のご案内です。昨年度のオンラインによる演劇ワークショップと発表会は、みんなの大きな成長につながりました。2021年度は野外劇に挑戦します。演奏もします。ダンスもやります。輝かしい彼らを応援しにきてください。



11/3 「奥多摩しいたけ物語(仮)」

(水・祝) 東京多摩学園屋外テラスにて

Facebook <https://www.facebook.com/jda.social.inclusion/>  
 Twitter [https://twitter.com/social\\_jda](https://twitter.com/social_jda)



本番までの様子を SNSで発信していきます。ぜひご覧ください。

2020年度のアーカイブ映像も配信予定です。